

## 仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針

この方針は、小平市第三次長期総合計画・前期基本計画における施設事業として掲げた、仲町公民館及び仲町図書館の合築によるリニューアルについて、その具体化に当たり庁内で協議・検討した結果を踏まえ、とりまとめたものである。

### 第1 基本的な考え方

仲町公民館及び仲町図書館のリニューアルに当たっては、現在の2施設を合築した複合施設とし、双方の機能を維持しつつ、情報通信技術の導入等を図る中で、特徴ある機能を持たせていくものとする。また、「小平市公共施設等の有効活用に関する方針」の基本的な考え方に基づき、施設の多目的利用の展開を図り、利用者サービスの増進と、より効率的な施設サービスの提供を目指す。

#### 1 基本コンセプトは「人と情報の出会いの場」

公民館は、講座、講演会及びサークル活動を通して、「人」との出会いを創出する場である。また、図書館は、図書、視聴覚資料の提供など「情報」との出会いの場である。新たな仲町公民館・図書館は、「人と情報の出会いの場」を基本コンセプトとして、双方の資源を有効に活かし、相乗効果と従来機能に新規機能を加味することにより、複合施設として従来に比べコンパクトな施設となるが、市民の交流の場の設置や、地域の集会機能を持たせるなど、より多様な市民が集い、多機能感やゆったり感のある施設づくりを目指す。

#### 2 建設敷地は仲町図書館敷地

建設敷地については、現状の公民館室数及び図書館蔵書数の減少を最小限とし、特徴ある機能を持たせる新たなスペースの確保のため、延べ床面積をより大きく確保できると見込まれる仲町図書館敷地とする。

なお仲町図書館敷地内に設置されている消防団第3分団詰所施設は、今回の公民館・図書館の建替えを契機として、狭隘かつ老朽化が進んだ現在の施設を移転・更新することにより、他の分団詰所と同程度の規模を確保し、地域防災の推進を図るものとする。

#### 3 公民館敷地の売却

合築により、施設の建設費用や維持管理コストの抑制を図るとともに、現在の仲町公民館敷地を民間等に売却することによって、リニューアルに係る財政負担の低減を図る。

### 第2 施設の現状

#### 1 仲町公民館

仲町公民館は、公民館発祥の地であり、現中央公民館が開館するまでの間、市民の公民館活動を支えた施設である。現在の仲町公民館は、かつての役場（庁舎）を昭和46年に建替え、昭和52年に改築されて現在に至っている。仲町公民館という名称は、昭和59年、現在の中央公民館が旧市庁舎に開館したことに伴い改称されたものである。耐用年数超過により老朽化が著しく、バリアフリー、耐震性向上への対処が必要とされてきた。

構造上、エレベーター、防音設備等がない状況である。

軽量鉄骨造、2階建、延床面積 697 m<sup>2</sup>、部屋の構成としては、ホール、学習室 4 室、講座室 2 室のほか、和室、保育室、陶芸室などがある。平成 20 年度の利用状況は、204 団体、33,774 人であり、分館 10 館中、利用者数は上位から 5 番目となっている。

## 2 仲町図書館

仲町図書館は、市民が長年待ち望んだ市内初めての図書館として昭和 50 年に誕生した施設である。開設時は中央館として位置づけられていたが、昭和 60 年に現在の中央図書館が整備されたことに伴い、地区館となったものである。

鉄筋コンクリート造、地上 3 階・地下 1 階、延床面積 1,141.08 m<sup>2</sup>、部屋の構成としては、一般開架、児童室、おはなし室のほか、会議室、事務室などがある。平成 20 年度の蔵書数（一般書、児童書）は 104,667 冊、貸出資料数は 141,846 冊であり、地区館 7 館中（分室を除く）、蔵書数は上位から 4 番目、貸出資料数も 4 番目となっている。

## 第3 施設の複合化に当たっての具体案

「人と情報の出会いの場」を基本コンセプトとした、いきいきと学び豊かな心を育む「人づくり」と「情報の提供」に基づく、学習成果を地域に還元する「地域貢献」という社会教育目的の達成と弾力的な施設利用による利便性の向上など、施設の有効活用を推進する。

### 1 複合化による利便性の向上

#### (1) 市民の交流の場としての多目的スペースの整備

図書館のブラウジングコーナー（注1）を活用した、ミニ多目的スペースを設置する。

図書館の新聞・雑誌等を配架し、閲覧はもとより、利用者が自由に会話や交流ができるようにする。

また、ブック・ディテクション・システム（注2）を採用し、館内どこでも蔵書の閲覧ができるようにする。

（注1）椅子等が置いてある軽読書コーナーのこと。

（注2）資料に貼り付けた I C タグ等により、出口のゲートセンサーが貸出手続きの有無を確認する装置のこと。

#### (2) 公民館講座・施設を利用した学校図書館ボランティア等の育成

学校図書館ボランティア等のボランティアの育成を図り、図書館を活動実践の場とすることにより、市民の自主的活動を支援する。また、公民館サークル等の豊富な人材に対して図書館事業への協力を求め、地域貢献の機会提供等を推進する。

#### (3) 市民の交流の場としての地域の集会機能

曜日や時間帯によって、地域に開放する集会機能を設け地域住民が自由に集える場を提供する。

#### (4) 施設設備の相互利用や多目的利用の推進

公民館の学習室、講座室としての利用を想定している部屋は、多目的な使用を可能とし、公民館で使用していないときは図書館の読書室としての利用を図るなどの相互利用を行う。

また、公民館保育室を活用して図書館のおはなし会の実施を図るなど、限られたスぺ

ースの効率的な運用のため、柔軟かつ有効な施設利用を推進する。

## 2 複合化による施設の有効活用の推進

### (1) 事務室の共用化

施設の利用手続きの簡便化、迅速化や事務効率の向上のため、公民館及び図書館の事務的機能を共有化する。具体的には、公民館が行う各種団体の利用手続き、相談業務、施設予約、利用当日の鍵の受け渡し、図書館が行う事務や蔵書管理業務などを行うスペースを一体化する。

### (2) その他の有効活用方策

コピー室、貸出備品倉庫などを共用化することにより、限られたスペースで最大限利用可能な空間を創出することとする。

## 3 従来機能の充実等

### (1) 公民館

従来利用団体等の収容が可能な施設とし、また現在は設置されていない防音設備や調理設備の付設など附帯設備の充実等により、利便性・快適性・安全性の向上を図る。また、各部署や関係機関との連携強化による関連講座等の積極的な開催や、学習提供・学習相談の充実を図り、地域の課題解決に向けた市民の能動的な活動の支援を推進する。

### (2) 図書館

情報通信技術の導入による利便性の向上を図るほか、事前予約による閉館時の貸出しを実施する。また子どもの読書離れへの対応として、学校図書館との連携推進館として位置づけ、学校図書館の支援体制の充実を図る。

## 4 新旧施設の概要（想定）

	現在	建替え後(想定)
図書館敷地	(登記地積) 955.21 m <sup>2</sup>	
図書館部分	地上3階・地下1階(延床面積) 1,141.08 m <sup>2</sup>	地下・1・2階
公民館部分		1・3・4階
消防団詰所(別棟)	地上2階(延床面積) 45.36 m <sup>2</sup>	移転
公民館敷地	(登記地積) 1,159.01 m <sup>2</sup>	
公民館部分	地上2階(延床面積) 697 m <sup>2</sup> (7室)	

## 第4 その他

### 1 建替えに当たっての配慮事項

#### (1) 図書館蔵書の保管

建替えが行われる間、仲町図書館蔵書の一時的な移動と、保管のための書庫の確保が必要となる。

#### (2) 駐車スペースの確保

現在の仲町図書館敷地には、消防団用に2台分、また近隣の土地を借地して図書館用に5台分の駐車場が確保されている。建替えにより、公民館利用者のための駐車場の確保が必要となるため、当該敷地内にできるだけ多くの駐車スペースを確保する。

## 2 今後の検討の進め方

施設の具体的なレイアウト等については、説明会等の開催などを通して、利用者や地域住民のニーズを捉え、関係団体等の意見を踏まえながら、決定していくこととする。

## 3 設計の手法

今回の建替えは、単なる既存の単独施設の合築ではなく、公民館と図書館が、複合施設として双方の機能の「相互乗り入れ」による相乗効果や、新たな機能の付加によるサービスの向上を図るモデルケースとなる施設づくりである。さらに、現在の仲町公民館は、かつての小平村役場、町役場として行政の拠点であり、かつ仲町公民館・図書館という小平市の社会教育の発祥の地であるといった立地背景を踏まえた、地域のシンボルとなる施設設計を目指す。

敷地面積に限りがあり、設計の自由度が少ない中で、上記のようなコンセプトを最大限に具体化できる施設設計を行うためには、企画力、創造性、技術力等が求められ、さらに「施工費」、「建物の維持、管理の容易性」、「ユニバーサルデザイン」、「環境への配慮」なども考慮することが必要である。

したがって、基本設計の業者選定に当たっては公募型プロポーザル方式を採用し、当該設計業務に対する実施体制や高度な知識と豊かな経験に基づく優れた提案を募り、さらに実施設計も視野に入れた業者選定を行うことにより、優れた機能性とデザイン性とを両立するとともに、利用者等の意見・要望を可能な限り反映した満足度の高い施設づくりを目指す。